



広報

おまえ

特集 給食の時間

大きく、おいしく育てね

さがえ西村山農協青年部大江支部の食農教育活動として、保育園児による「つるり里芋」の定植が5月12日に深沢地区内でおこなわれました。この日はさくら保育園年長組の20人の園児たちが、一つひとつ苗を植えて土をかぶせ、「大きくなあれ」と声をかけながらたっぷりと水やりをしていました。秋には自分たちが植えた里芋を収穫し、芋煮会をおこなう予定です。



平成29年

6

No. 676

給食の時間がやってきた!

小学校の、いつもの昼下がり。午前の授業が終了すると、子どもたちは一斉に慌ただしく動き出します。

真っ白な給食エプロンとキャップを身に付け、調理室から給食を運んでいく当番の児童たち。テーブルの上に並んだ野菜や魚、おつゆなどを食器に手際よく盛り付け、順番に並んだ児童たちの持つお盆に載せていきます。

昔から変わらない、小学校の給食の時間の光景。しかし時代の流れとともに、給食の中身とその役割は、現在まで刻々と変化してきているのも事実です。

学校給食は、今から120年以上前の明治22年に誕生しました。当時の山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）にあった忠愛小学校で、家庭が貧しい児童におにぎりとおかずを昼食として支給したのが始まりとされています。本県で生まれ、全国の学校に少しずつ広まっていった給食。それぞれの時代背景を反映し、変化しながら、子どもたちのお昼の楽しみとして変わらず続いてきました。

そして今、給食の時間は単なる「お昼ごはん」とどまらず、さま

ざまな意味を持つようになりました。楽しく、おいしく味わいながら、「食」の意義と自分たちのふるさとについて考え、思いを巡らせる、大切な「学び」の時間となっています。

旬のおいしさを味わえる日

「食育の日」とされている毎月19日、町内の小中学校では、特別献立「ふるさと給食」が一斉に実施されています。5月は山菜の多くが旬を迎えることもあって、「わらびごはん」に「うるいのえのきあえ」、「若竹汁」といった山の幸尽くしのメニューとなりました。この「ふるさと給食」の食材として、わらびやうるいなど、町内で収穫されたものが提供されています。

旬の野菜や果物は、自然のままに成熟した状態にあるため、食材の本来のおいしさを味わうことができるとともに、栄養価も高いという特長があります。

独特の食感や苦味のために、苦手な子どもも少なくない山菜ですが、旬のおいしい山菜を食べやすく調理した献立は好評で、地元の子どもの味わいながら、ほとんどの子どもたちが完食していました。



給食の時間

～学校給食と食育・地産地消～

少年期の時間の大半を過ごす、小中学校での生活。皆さんの心にとりわけ印象深く残る思い出のひとつが、給食ではないでしょうか。献立は時代や世相を写し、その変化の大きさに驚く方もいることでしょう。

午前と午後の授業の境目、勉強や運動で空っぽになったお腹を満たし、仲間たちと一緒に過ごす楽しいひととき。しかし子どもたちにとって、給食の時間にはそれ以上の大切な意味が詰まっていた。



5月のこんだて			
今月の目標…旬の野菜をおいしく食べよう！			
～今日は、「春」の味覚たっぷりの献立です。自然の恵みを大いにからだに取入れましょう！～			
よていこんだてめい	春の旬の食材	おまの旬の食材	おまの旬の食材
	旬の食材	旬の食材	旬の食材
ごはん おしのほごうじつけ	キャベツ	キャベツ	キャベツ
やさいいため あさのみみ汁	キャベツ	キャベツ	キャベツ
ごはん ぶたにくのケチャップあえ	キャベツ	キャベツ	キャベツ
豆苗サラダ かきたまスープ	キャベツ	キャベツ	キャベツ
* 雑巾の節句献立 *			
たけのこごはん カツオブライ	キャベツ	キャベツ	キャベツ
鶏ごみのおもてなし すまし汁	キャベツ	キャベツ	キャベツ
アーボライズ ひじきのマヨサラダ	キャベツ	キャベツ	キャベツ
はちみつスープ	キャベツ	キャベツ	キャベツ
なげんぼろうおんぼろ！こんだて☆	キャベツ	キャベツ	キャベツ
おにぎり(雑巾めし) 魚肉ソーセージ とん汁	キャベツ	キャベツ	キャベツ

- ▲ 5月の給食献立表。季節感あふれる春の味覚、その食材には町内産が多く使われていることがわかります
- ◀ 本郷東小学校の給食準備の光景。短い時間の中、素早く丁寧に、協力して配膳していきます

この献立表をよく見ると、太い文字で書かれた食品があることに気が付きます。これは、農産物などの食材が町内で採れたものであることを表しています。5月の献立には、たまねぎやにんじん、ほうれんそうなどのお馴染みの野菜のほか、米や山菜なども町産のものが多く使われていることが分かります。

県がおこなった「学校給食における県産農産物の利用状況調査」によると、本町の学校給食の地産地消率（給食の食材に県産の農産物を使っている割合）は、県内第2位。町内

1カ月間の給食の中心が一目で分かる、お馴染みの献立表。ごはんやおかず、汁物などのメニューだけではなく、その日の献立に使われた食品なども記されていて、体内に取り入れられてどういった働きをするのかも知ることができるようになっています。

五感でふるさとを感じる

地域の産物のおいしさを小中学生に知ってもらう給食版「地産地消」を進めるために、この「ふるさと給食」をはじめとしてさまざまな取り組みがおこなわれています。



5月19日、本郷東小学校での「ふるさと給食」。全児童が仲良く食卓を囲んで給食を味わいます

おいしく、楽しく。 残さず食べよう。



5月23日の給食には、山菜汁が登場。
わらび、ふき、うどなど、旬のおいしい山菜や野菜がたっぷり入っています



▲左沢小学校6年生の給食風景。グループで机を合わせ、楽しく食事をとめます



▲「おいしい給食をいただきに来ました！」元気よくあいさつして、みんなの給食を運んでいきます

の生産者や直売所などの協力を得て、町産の農産物をたくさん取り入れています。

小学校の6年間は、味覚を醸成するのに大切な時期だといわれています。しかし現在、家庭では毎日多様な食材を使って料理したり、昔ながらの料理を作ったりすることはなかなかできなくなっているのも事実。こうしたことから、学校給食の役割は大きくなってきました。

自分たちが住んでいるこの町では、こういった食べ物が採れる、こんな食感がある、こんなにおいしい味がある——子どもたちは毎日の給食の中で、自分自身の舌で味わって、地域の特色を五感で体感しながら学んでいます。

献立は成長への道しるべ

これまで、校内で給食を作る左沢小学校・本郷東小学校と、榎大江総合給食センターで調理をおこなっている大江中学校では異なる献立を作成していました。しかし昨年度から、中学校では対応が難しいパン食などのメニューを調整したうえで、小学校とも共通の献立による給食を提供しています。これによって、すべ

ての小中学校で統一されたコンセプトのもとに食育を実施することができるようになっています。

毎日の給食の献立は、栄養教諭が作成した原案をもとに、教育委員会や学校の給食関係者が加わった献立作成会議で決定されます。摂取カロリーや栄養バランスなど、子どもたちの健やかな成長のために不可欠な要素はもちろん、メニューの偏りを避けて肉・魚・野菜などをまんべ



▲献立を考えた皆さん、調理してくれた皆さん、生産者の皆さん……
たくさんの人々や自然の恵みに感謝を込めて、「いただきます」



給食でふるさとの魅力を伝えたい

左沢小学校 栄養教諭
新宮 春奈先生

運動をするにも勉強をするにも、食事は一番の基礎となるものです。食事のマナーを学ぶという意味でも大切な時間ですね。給食を通していろいろな味を体験することも大事だと思います。

子どもたちは1年生の時から、給食を作ってくれた人たちへの感謝の気持ちを持ってきています。苦手なものでも頑張ってお食べようとチャレンジしてくれるのが嬉しいです。

大江町にはおいしい農産物がたくさんあって、給食にもたくさん取り入れています。「今日の献立には、地元で採れた野菜が入っているんだよ」と、子どもたちにも教えてあげています。こんなにおいしいものが、すぐ近くにあるんだということを知ってもらい、子どもたちが自分の町をいっそう好きになってくれることを願っています。



左沢小学校6年生
健康委員長 鎌上 恵伍さん

みんなで楽しく食べる給食が大好きです。自然豊かな町の野菜をたくさん食べられることに感謝しながら、おいしく食べたいです。



本郷東小学校6年生
給食委員長 最上 心瑚さん

生産者の方など、たくさんの方が一生懸命作ってくれたおいしい給食なので、残さずにしっかり食べるようにしたいです。

給食からこんにちは！

山菜

みなさんは、「旬」という言葉を知っていますか？「旬」とは、その食べ物が一番よく育つ季節のことをいいます。一年中いるんな野菜や果物や魚がお店に並んでいるので、いつが「旬」なのか、わからなくなっていますが、自然の食べ物には必ず「旬」があります。旬のものは、とてもおいしくて栄養があり、たくさんとれるため、値段も安く並びます。また、地元で

▲献立に込められた意味や思いを子どもたちに伝える「給食からこんにちは」。季節や行事など、折に触れて新宮先生が作成し、小中学校の給食の時間に放送されています

なく食べられるよう、細やかな配慮のもとに献立は作られています。季節ならではの食べ物を可能な限り取り入れ、旬の産物と味覚から四季折々の変化を感じとれるようにすることも、食育の観点から重要なポイントのひとつです。

また、「ふるさと給食」のほかに、災害時の非常食を体験する「がんばろうみんな」で「献立」、被災地の特産品などを味わう「絆献立」、

日々の給食に込めた思い

全国各地のご当地メニューを食する「日本一周食めぐり」など、年間を通してさまざまなアイデアを給食に取り入れています。

小学校で児童たちが口にする給食を毎日実際に作っているのは、学校の調理師の皆さんです。子どもたちに安心しておいしく食べてもらうため、食材の切り方や加熱の方法などをひとつひとつ工夫し、温かいものは給食の時間が始まる直前まで待つて温めるなど、最後の仕上げまで丁寧に調理をおこなっています。

「子どもたちに笑顔で『おいしい』と言ってもらえるのが一番」とある調理師の方は話します。あらゆる角度から子どもたちのために献立を考える皆さん、その献立に不可欠な新鮮な食材を提供してくださる皆さん、そして子どもたち一人ひとりのために、毎日心を込めて調理している皆さん。

子どもたちが楽しく給食を食べる光景が日常となっているのも、実にたくさんの方々の努力と創意工夫がその裏にあるからこそだといえるでしょう。

給食が始まる場所。

十八才地内、鈴木正清さんのアスパラガス畑。

毎朝4時頃に収穫作業をおこない、小倉交流館を経て学校へ届けられます

ふるさとの土が生み出す味

小中学校の給食に町産の農産物を提供している事業所のひとつが、小倉交流館「いきいき産直」です。学校に届けられるのは、主に本郷西地区の農家の皆さんの手による、新鮮でおいしい野菜。5月の献立には、わらび、こごみ、うるい、アスパラガス、うど、にらなどが使われています。学校給食用としては、かつては旧本郷西小学校と本郷東小学校に食材を提供していましたが、現在では町内の小中学校すべてにふるさとの味を届けています。そして今年6月からは、町立保育園の給食にも農産物を提供しており、地産地消の輪は子どもたちの給食を通じて着実に広がっています。

露地栽培の野菜は収穫できる時期が限定されるうえ、生育状況によっては出荷時期が大幅に遅れてしまうこともあるなど、課題がないわけではありません。しかし、子どもたちが地元産の野菜や果物のおいしさを給食を通して知り、町で採れる農産物や地域の農業について興味を持つてくれることは、生産者にとっても大きな意味のあることといえます。生産者と子どもたちを結ぶ試みと

地元の野菜を 味わってほしい



小倉交流館代表
鈴木 正清さん(十八才)

小倉交流館では年間を通して、季節ごとの旬の味覚を給食用の食材として提供しています。また、生産者の皆さんには給食に出すために多めに栽培してもらったり、安全性に万全を期すようお願いしたりしています。私もアスパラガスやあけびなどを栽培していて、学校給食用として提供しています。

私たちが育てたいろいろな野菜を皆さんから味わっていただき、喜ばれているようなので大変うれしいです。これからも、たくさんの方に地元の野菜をおいしく食べてほしいですね。



▲5月19日に開かれた町立学校給食運営委員会では、委員がふるさと給食を試食したうえでさまざまな意見を述べました

◀昨年の地産地消推進交流給食会の様子

地域の味を
給食から家庭へ



左沢小学校母親委員部長
遠藤 梨香さん(若原)

小学校の給食を試食してみて、細かいところまで配慮して調理していただいていることに驚きました。例えば、煮魚。柔らかくなるまで煮るのは大変なのですが、給食でそこまで調理して出していただけの的是ありがたいです。わらびなどの山菜料理も、家でも作ってみたいと思いました。

来年、私の娘も小学校6年生になります。中学生になる時には、制服などで出費が多くなるので、給食費無償化はとても助かりますね。

して、毎年12月に左沢小学校で地産地消推進交流給食会が開かれています。この会は、農家の皆さんが小学校1、2年生と一緒に給食を食べたり、野菜を栽培している様子を写真で説明したりするものです。子どもたちに農業について知ってもらおうとともに、生産者の皆さんも自分の作った野菜などを子どもたちが実際に食べてくれる様子を見ることができ、まさに食を通して世代をつなぐ交流会となっています。

「明日の給食は何だろう?」

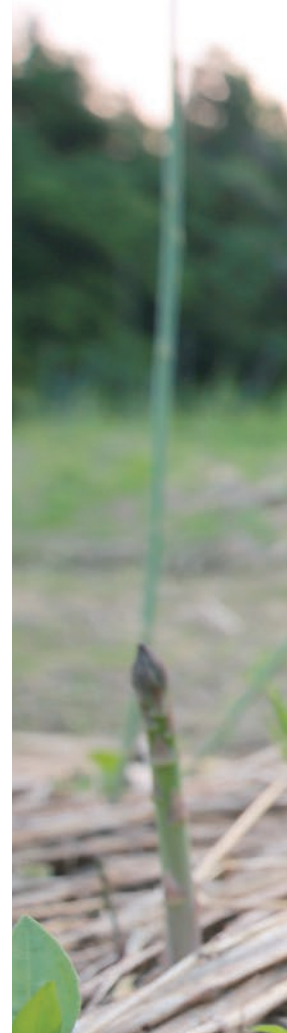
1年間の学校給食の方針を決定しているのが、町立学校給食運営委員会です。小中学校の校長をはじめ、各学校の給食担当者、保護者の代表などが委員となり、学校給食の運営の面からさまざまな意見交換をおこないます。5月19日には、児童たちと一緒にふるさと給食を試食。山菜の名前や味を子どもたちに知ってもらおう意識の大きさ、中学校で同じ献立ができるかどうかの検討、調理方法にいたるまで多様な意見が出されました。

また、給食における地産地消をいっそう進めていくための取り組みとして、今年度は左沢高校の生徒たち

が栽培した農作物も学校給食の食材として用いることになりました。町を取り巻く食育・地産地消の輪の中に高校生たちも加わってもらおうことで、小中学校の食育のいっそうの充実が、そして町の産物をより広く、多くの人に知ってもらえる効果が期待されます。

保護者の皆さんの負担を緩和するという面からも、新たな取り組みが始まっています。子育て世代が抱える経済的負担を少しでも軽減し、安心して子育てができる環境を整備するため、今年度から小学校6年生の児童と中学校3年生の生徒の給食費を無償化しました。無償化の実施は、平成31年度までを予定しており、その後の取り扱いについては今後検討していくことにしています。

献立の内容も、その役割も、時代とともに大きく変化を遂げながら今に至る学校給食。しかし、子どもたちが同じ学校、クラスの仲間と食事の時間を共有する貴重な場であることは変わりません。たくさんの方々の思いが込められたふるさとならではの給食を味わいながら、子どもたちは身体的にも精神的にもたくましく成長し、やがて大きく羽ばたいてくれることでしょう。



議会

town council 第2回臨時会

平成29年第2回大江町議会臨時会が、5月16日に開かれました。平成30年度開所を予定している町立保育所の整備工事について、落札した高子建設株式会社と工事請負契約を締結することが承認されました。工事の完成期限は、平成30年1月31日です。

校歌とともによみがえる思い出 ～大江町学校校歌集～

町教育委員会では、閉校になった小中学校を含めた学校の校歌を冊子に編集しました。この校歌集は、各学校の校歌の楽譜や歌詞はもちろんのこと、作詞・作曲者の経歴、歌詞の大意もまとめた冊子になっています。

編集を手がけたのは、前教育長の富樫是行さん（若原）。

「皆さんが校歌に夢を乗せて、青春の血をたぎらせた時代に思いをはせてほしい」との思いで、各種資料を集め編集をおこなったそうです。

自分の通っていた学校の校歌は、その一節に触れただけで、懐かしい学校生活の思い出がよみがえってくるものでもあります。校歌集は5月上旬に各世帯に配布していますので、皆さんも懐かしい記憶に浸ってみてはいかがでしょうか。



▲懐かしい歌詞と、校舎の写真も掲載しています

輝いて 今

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

「月刊美術」美術新人賞「デビュー2017」グランプリ受賞



柏倉 風馬さん
(小漆川)

実業之日本社が発行する美術雑誌「月刊美術」の美術新人賞「デビュー2017」で、柏倉風馬さん（小漆川）が最高賞であるグランプリを受賞しました。

柏倉さんは東北芸術工科大学出身で、大学・大学院ではともに洋画を専攻。今回受賞した作品『Les Enfants Terribles』は、鉛筆での描写のほかにも、キャンバスに色紙や銀箔などを貼り重ねて下地を作るなど、さまざまな技法を駆使して制作されています。

「タイトルはジャン・コクトーの小説『恐るべき子どもたち』から取りました。体の成長に伴う感覚の変化が主なテーマです。電子機器などの進化によって感覚器官が延長されていく、そんなイメージが最近の作品制作のベースになっていますね」

グランプリ受賞者の特典として、来年5月に東京都内で個展の開催が予定されているほか、今後さまざまな場所で個展や展覧会での作品展示をおこなう予定の柏倉さん。その活動は絵画だけでなくとどまらず、イベントの企画立案や、音楽イベントへの参加にも意欲を燃やしています。

「これまで『SHAKE LAB』への作品出展、『やながわ自然ファクトリー』の企画といった形で町のイベントにも参加しました。今後は自分の制作活動を継続できるようにすることが一番の目標ですが、機会があれば、町内で創作活動を希望する人のサポートなどもできればと考えています」



グランプリ受賞作
『Les Enfants Terribles』

町では、皆さんに町の財政がどのように運営されているかを知っていただくため、年2回（上半期、下半期）定期的に財政状況をお知らせしています。今回は、平成29年3月末現在の予算執行状況と町債（借入金）残高の状況をお知らせします。
※決算確定額ではありません。

まちの 財政 状況

◆一般会計の予算額

(単位：千円)

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予算現額
4,524,000	1,169,500	154,651	5,848,151

※補正予算の主なもの、防災行政無線整備事業や町立わかば保育園増築事業などです。
※前年度繰越額の主なもの、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業や災害復旧事業などです。

◆歳入内訳

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	収入済額	割合
町 税	763,345	759,435	99.5
町 民 税	321,107	314,767	98.0
固定資産税	352,119	354,398	100.6
軽自動車税	27,246	27,901	102.4
たばこ税	44,577	43,944	98.6
入 湯 税	410	431	105.1
都市計画税	17,886	17,994	100.6
使用料及び手数料	75,121	69,252	92.2
繰入金、繰越金、 諸収入ほか	821,163	814,051	99.1
地方譲与税	57,000	57,206	100.4
地方消費税交付金	120,000	134,940	112.5
自動車取得税交付金 ほか各種交付金	14,901	19,532	131.1
地方交付税	2,223,852	2,272,430	102.2
国・県支出金	906,969	615,627	67.9
町債（借入金）	865,800	159,100	18.4
合 計	5,848,151	4,901,573	83.8

◆歳出内訳

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	支出済額	割合
議 会 費	86,412	85,888	99.4
総 務 費	1,124,314	931,786	82.9
民 生 費	1,384,459	1,287,985	93.0
衛 生 費	207,902	196,937	94.7
農林水産業費	452,410	395,382	87.4
商 工 費	88,865	81,892	92.2
土 木 費	650,120	545,224	83.9
消 防 費	537,177	172,422	32.1
教 育 費	784,517	739,636	94.3
公 債 費 (借入金の返済)	430,505	429,615	99.8
そ の 他	101,470	75,592	74.5
合 計	5,848,151	4,942,359	84.5

※地方創生拠点整備交付金に係る事業や道路改良事業などを翌年度（平成29年度）へ繰り越しています。

※4月～5月の出納整理期間に執行される科目があるため、歳入・歳出ともに予算現額に対して低い割合となっています。

◆特別会計

(単位：千円、%)

会 計 名	予算現額	収入済額	割合	支出済額	割合
国民健康保険特別会計	1,000,400	950,589	95.0	884,915	88.5
後期高齢者医療特別会計	98,965	99,887	100.9	97,475	98.5
介護保険特別会計	1,043,534	1,020,481	97.8	918,684	88.0
宅地造成事業特別会計	47,678	44,169	92.6	18,263	38.3
公共下水道事業特別会計	256,700	251,359	97.9	221,383	86.2
農業集落排水事業特別会計	44,550	44,919	100.8	41,744	93.7

◆水道事業会計

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	収入(支出) 済額	割合
収益的収入	249,727	253,163	101.4
資本的収入	64,022	65,005	101.5
収益的支出	249,727	246,805	98.8
資本的支出	113,880	112,994	99.2

◆町債（借入金）の状況

(単位：千円)

会 計 名	平成27年度末 残高	平成28年度 借入額(見込)	平成28年度 元金返済額(見込)	平成28年度末 残高(見込)
一 般 会 計	5,198,808	846,100	393,496	5,651,412
公共下水道事業特別会計	2,055,661	16,600	133,031	1,939,230
農業集落排水事業特別会計	260,488		16,361	244,127
水 道 事 業 会 計	746,239	50,000	31,970	764,269
合 計	8,261,196	912,700	574,858	8,599,038

※平成28年度の借入額、元金返済額、年度末残高は決算見込額としています。



5/13~14 強豪を相手に奮闘!

大江町バスケットボール協会などの主催による第14回大江「闘魂」カップが、5月13日から14日にかけて、町内外の4会場で開催されました。県内外の中学校バスケットボールチームが一堂に会し、試合を通じて技術向上と親睦を図るこの大会。今年は、県外からの参加も含め男女各17チームがエントリーし、優勝を目指して2日間の真剣勝負を繰り広げました。

大江中学校バスケットボール部も、保護者の皆さんの運営協力と応援を受けて、強豪校を相手に一歩も引かない熱戦を展開していました。



5/13 自家製果物とお菓子で魅力をPR

地元産の農産物を使ったお菓子の試食会が、5月13日に伏熊地区内で開かれました。この試食会は、鈴木恵理子さん(深沢)をはじめとする三郷地区の農家の主婦の皆さんと、ケーキなどの製造をしていた白川清江さん(伏熊)が、地元で採れた果物などを活用するとともに、三郷地区の魅力をたくさんの人に知ってもらおうと企画したものです。

この日は伏熊産のリンゴを使ったチーズケーキなど、工夫を凝らしたメニューが振る舞われ、来場した方からは「ぜひ地元のイベントで出店してほしい」との声もあがるなど、大好評でした。



5/13・20 「百人力」で公民館を清掃

町内公共施設利用団体による清掃ボランティア活動が、5月13日と20日におこなわれました。この作業は、現在無料で公共施設を利用している団体の皆さんに、普段使用している施設をきれいに保つために実施していただいたものです。

今回の清掃作業には、各団体から両日合わせて約180人の方が参加。早朝から駐車場や広場の掃き掃除をおこないました。中央公民館では多数の参加者が一列に並んで、駐車場の端から端まで横断しながら竹ぼうきで掃いていき、広々とした駐車場をあっという間にきれいにしていました。



5/3 団体戦3連覇、個人戦も大健闘!

第19回西村山地区ホープス卓球大会が5月3日に開かれ、大江卓球クラブジュニアが団体戦で見事3年連続の優勝を果たしました。団体戦のメンバーは、左沢小学校5年生の佐竹藍人さん(小漆川)、渡邊航さん(藤田)、熊谷陽希さん(蛍水)、今野友翔さん(小漆川)です。

代表の鈴木幹太さん(藤田)は「子どもたちは競争心を持って練習に励んでいます。将来は全国レベルにつなげたい」、保護者会会長の今野芳広さん(小漆川)は「みんなのやる気と保護者の皆様のご協力のおかげです」と話していました。

《競技結果》各種目優勝者のみ

◇100メートル走

5年男子	横山 翔 (左 沢)	16秒3
5年女子	渡邊 ひな (本郷東)	15秒9
6年男子	保科 拓海 (本郷東)	15秒2
6年女子	菊地 蘭 (左 沢)	15秒8

◇70メートルハードル

5年男子	横山 翔 (左 沢)	13秒6
5年女子	工藤 レア (左 沢)	13秒5
6年男子	保科 拓海 (本郷東)	12秒4
6年女子	菊地 蘭 (左 沢)	13秒9

◇走り幅跳び

5年男子	熊谷 陽希 (左 沢)	3m06cm
5年女子	後藤 友里 (左 沢)	3m04cm
6年男子	松田 楓真 (本郷東)	3m56cm
6年女子	公平衣舞紀 (本郷東)	3m10cm

◇ソフトボール投げ

5年男子	吉田勇之介 (本郷東)	46m81cm
5年女子	遠藤さくら (左 沢)	29m88cm
6年男子	堀 裕成 (本郷東)	41m70cm
6年女子	兼子 晴凧 (左 沢)	27m37cm

◇1000メートル走

5年男子	大森 灯真 (本郷東)	3分56秒2
6年男子	松田 蒼生 (左 沢)	3分30秒5

◇800メートル走

5年女子	黒川 彩葉 (本郷東)	3分09秒7
6年女子	菊地 蘭 (左 沢)	3分06秒5

◇400メートルリレー

男子	本郷東小学校 6年生	1分02秒4
女子	左沢小学校 6年生	1分04秒2

5/17 爽やかな風の中を全力疾走!

町立小学校の陸上競技大会が、5月17日に左沢小学校グラウンドで開催されました。左沢小学校と本郷東小学校の5・6年生は、雲一つない青空のもと、これまで積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮。トラックとフィールドの各競技で自己記録の更新にチャレンジしました。

最終種目の400メートルリレーでは、自校を応援する児童たちや保護者の熱い声援が飛び交い、選手もチームワークを遺憾なく発揮して、全力で走り抜きました。



5/26~6/4 心潤す可憐なヒメサユリ

今年で16回目となる大山自然公園ユリまつりが、5月26日から6月4日にかけて開かれました。今シーズンは植栽したヒメサユリの株からこぼれた種が自生し、花を咲かせるようになったことで、さらにたくさんの花が見られるようになりました。

期間中の週末はポニーとのふれあいコーナーなどのイベントがおこなわれ、あいにくの天候にもかかわらず多くの方が訪れました。来場した方は「ヒメサユリがこんなにたくさん咲いているのは初めて見ました」「目の保養になりました」と話していました。



「繰り返し」が「記憶」を完璧なものにする……恩師から頂いた言葉だ。知識も動作も所作も「繰り返し」を続ければ、目をつぶっても、耳をふさいでも、自然にできるようになる……本当かな。

今年も田植えの季節がやってきた。田植え機に乗ってサー出発進行。並行直角に早苗の緑の行列を、まるで田んぼに描くようで、理屈よりも実感として、男の美学の実践で至福の世界とあいなる。機械に使われているのか、機械を使っているのか、主人公は誰か……少々迷いはあるけれど。

1 往復終了して3列目に入った時、なんと前後進はするが、苗がちっとも田んぼに植えられない。見れば、苗を送り植える部分が全く動いていない。朝の7時、頭は固い、故障だな、ベルトが切れた、歯車破損……完全にそう思った、思い込んだ。農機具屋から電話でご助言を、再度機械に乗ってみて、手順を追って確かめればなんと「植えつけ」のギアが「ずれ」ている。「ファジー」やだめだよ、ギアは」と天の声。あーあ、慌てたな、5年目の田植え機械、5回だけの繰り返して「完璧記憶」が達成されていなかったのか……。そういえば恩師は次の言葉も必ず言っていた、「13回繰り返しなさい、そうすれば忘れたくとも忘れられなくなる」と。残り8回あるが「完璧記憶」は可能かどうか。田植機械練習用水田でもあれば、「完璧記憶」に近づこうが、そうもいくまい。「機械は人間が動かすものだ」、機械屋さんに静かに、厳しく叱られた、と確信した。早朝ご助言ありがとっございしました。

大江町長 渡邊 兵吾

地域おこし協力隊通信

No.33



毎年思うことなのですが、木々が芽吹いてからの時間の流れは早いものです。天気の良い日に、ザルの上に干された山菜が太陽の力で徐々にしなびていく様子を見ると妙に安心します。初めてその光景を見た時の感動は今も忘れられません。人が生きていくために必要な知恵や技術の結晶がザルにのっているように見えました。

しかも、そのザルはあちこちで見かけたのです。必要なものは買えば手に入り、1年中室内での仕事だから天気なんて関係ない、という環境で過ごしていた私にとっては、良い意味で次元が違い、衝撃的な出来事でした。そして何より、地域のお母さん方がそのザルを並べている光景は、大江町らしさを象徴する愛おしいものです。青々とした草原でヤギたちに囲まれたアルプスの少女ハイジが愛おしく見えるのと同じです。

いつまでも残しておきたいこの環境と知恵と技術。さて、私が残り1年の任期でできることは何なのか。今年も皆さんのお力を貸していただければと思います。

地域おこし協力隊 野木 桃子



▲山の食文化を受け継ぐ方々を追いかけしています

短歌

福寿草山里の土手飾りたり散歩して見るその甘い風

松田 馥

このセザンヌやゴッホの絵にも優りたり繁る若葉よ岸打つ波よ

山家 重之

田代山兄の手入れの榎林新緑眩し過疎の九時半

佐竹磨砂湖

都会へと巣立つ孫の手握りしめ何も言えずにただ涙なり

長岡かづ子

人住まぬ荒れし庭にも人恋し忘れ名草の今年も咲きぬ

菊地つねよ

なつかしやもつきり一杯お茶がわりいつも十八番の佐渡情話

佐竹 興鼓

畑の辺に鶯の声聞こえきてはるかな月山白しらと立つ

斎藤 徳治

俳句

夏野菜豊作願ひ畑を鋤く

鴨田富士夫

水路普請スコップ置けば山笑う

阿部 一風

若葉して山道歩む日暮かな

松田 馥

五月閨門から出づる白鼻心

山家 重之

ふるさは大江氏城址の若葉風

清野今日子

万緑の中においてきぼり食らふ

熊谷 勉

愛好む節は昔に迫り来し

舟山 三男

下校の子かたまつて来る葱坊主

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。

職人の技を受け継ぎ、伝える

伊藤 諒さん (23歳・小見)



朝日町内にある産業用ポンプの製造工場に勤務する伊藤さん。これまで工作機械での部品加工を担当してきましたが、6年目となる今年は大きな転機を迎えたといいます。

「ハンドル操作の工作機械を扱える先輩職員が退職されるので、私がお後を引き継ぐことになったんです。感覚で覚えるハンドル操作の技術は職人芸のようなもので、本当に難しいですね」

そんな伊藤さんの趣味のひとつが、川釣り。月布川など近所の川へ出かけ、のんびりと釣るのが楽しみだそうです。

「一人でゆっくりしたいなあという気分の時、釣竿を一本持って出かけるんです。近くの川でもたまにカジカなどが釣れるので、面白いですよ」

先輩が培ってきた職人技を受け継ぐことが、一番の目標だと語る伊藤さん。

「本当に職人のような方なので、少しでも近づけるようにがんばりたいですね。そして習得した技術を、次の世代にしっかり伝えていきたいです」

★ Youthful ★
★ トーク ★

シリーズ企画

月刊 仲間とエンジョイ!

No.6

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

大江絵画会

代表：鈴木信子さん（9区）

大江絵画会は、絵や彫刻などを趣味としている皆さんの会です。普段はそれぞれの場所で研さんに励み、春の小品展開催と、秋の文化祭への出展を主な活動としています。

その作品は、水彩画、パステル画、日本画、油彩画、彫刻など、実にバラエティ豊か。今年ふれあい会館で開かれた小品展では、皆さんの個性あふれる新作がずらりと並びました。

「皆さんの力作がこうして一堂に集まり、お互いの作品を鑑賞できるのは良い機会ですね」と話す、代表の鈴木信子さん。現在10名で活動している大江絵画会では、絵画などの作品づくりを楽しみたい方の入会をお待ちしています。



▲大江絵画会の皆さん



▲5月27日から6月13日にかけて、ふれあい会館で小品展が開かれました

お知らせ

Information

役場庁舎のエレベーター設置工事をおこないます

6月19日より、役場庁舎のエレベーター設置工事を実施します。完成は11月30日を予定しています。

工事期間中は正面玄関と正面側の車両入口が通行不可となりますので、西側玄関と西側の車両入口をご利用ください。来庁される皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

☎総務課財政係 ☎(62)2112

1日人間ドック、ミニドック(総合健診)をぜひ受けましょう!

生活習慣病は自覚症状がなく進行し、大きな病気につながる恐れがあります。年に一度は必ず健診を受けましょう。

また、大江町国民健康保険加入者で、4月1日現在満39、40、45、50、55、60、62歳(この年齢のうちに一度)の方は、1日人間ドックが2500円、ミニドックが2千円で受診できます(一部がん検診含む)。

対象の方にクーポン券をお送りしていますので、ぜひ受診してください。

なお、町の健診を申し込んでいない国民健康保険加入の40、74歳の方に、電話で受診をお勧めしています。

☎健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114

県内河川一斉清掃

7月は「河川愛護重点運動期間」です。「きれいな川で住みよいくさと運動」として県内河川一斉清掃がおこなわれます。皆さんのご協力をお願いします。

◆日時/7月2日(日)6時から1時間程度

◆場所/最上川、月布川、小清川、大瀬川河川敷

☎建設水道課管理係 ☎(62)2116

健康づくり教室「高血圧予防編」を開催します

生活習慣病予防のための健康づくり教室「高血圧予防編」を開催します。参加費は無料です。今後「糖尿病予防編」「運動編」も開催する予定です。

◆日時/6月27日(火)10時~11時半



第34回 最上川舟唄全国大会 正調

今大会では一般の競技に加え、宮城県亘理町えんころ節大会優勝者や栃木県佐野市越名舟唄大会優勝者、特別ゲストとしてNHK「それいけ民謡唄祭り」にレギュラー出演していた「『隠岐むすめ』ゆかり」さんがやってきます。

町内団体では、大江男声コーラスの最上川舟唄男声合唱、大江中学校生徒による最上川舟唄混声四部合唱、大江町祭事振興会MOVERによる舟唄のヒップホップダンスなどさまざまなアトラクションを実施する予定です。ぜひご家族そろってご来場ください。

◆日時/6月25日(日)8時50分から

◆会場/ふれあい会館

◆チケット料金/前売券500円・当日券800円
 ※前売り券は大会前日の6月24日までテルメ柏陵健康温泉館、大江町交流ステーション、ふれあい会館でお買い求めいただけます。

☎第34回正調最上川舟唄全国大会事務局(政策推進課内) ☎(62)2139

◆場所/保健センター

◆講師/宗片恵理氏(一般社団法人ゆにしあ・管理栄養士)

◆申込方法/1週間前までに、電話でお申し込みください

☎健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114

山形県障害者技能競技大会 アビリンピックやまがた2017

障害者の職業能力の向上と、雇用の促進のために「アビリンピックやまがた(障害者技能競技大会)」を開催します。入場無料です。

◆日時/7月5日(水)9時15分~15時半

◆会場/山形ビッグウイング

☎独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部アビリンピック担当 ☎023(674)9567

海外研修や留学の交通費を補助します

町では、多様な価値観と国際感覚を身に付け、地域の活性化に貢献できる人材の育成のために「海外研修事業補助制度」を設けています。ぜひ活用ください。

◆対象者/町内に住所を有し、現在居住している方(勉強のためやむを得ず町外に居住する学生も含む)

◆対象となる研修/町づくりや地域おこしに生かせる幅広い知識・技術

重度心身障害(児)者医療制度・ひとり親家庭等医療制度をご存じですか

一定の障害をお持ちの方や母子家庭・父子家庭などのひとり親家庭の方に、医療費の一部を助成しています。

助成を受けるためには医療証の申請が必要ですので、現在医療証をお持ちでない方で下記要件に該当すると思われる方は、お問い合わせください。

※現在医療証をお持ちの方には、更新の案内を郵送していますので、ご確認ください。

	重度心身障害(児)者医療	ひとり親家庭等医療
制度の内容	医療費の自己負担が1割または無料になります。 (保険適用分のみ)	医療費の自己負担が無料になります。 (保険適用分のみ)
対象者	①身体障害者手帳1・2級 ②精神障害保健福祉手帳1級 ③公的年金各法の障害等級1級相当 ④療育手帳A ⑤特別児童扶養手当1級 ①～⑤のいずれかに該当する方で町民税所得割額が235,000円未満の方 ※ただし、16歳未満の扶養者がいる場合1人につき33万円、16歳以上19歳未満の扶養者がいる場合1人につき12万円を所得から控除した額で再計算した場合、町民税所得割額が235,000円未満になる方も対象になります。	①ひとり親家庭の母または父で、所得税非課税の方及びその方に扶養されている18歳以下の子ども(父母が就労などにより収入を得ていること) ②所得税非課税の方に療育されている両親のいない18歳以下の子ども ※ただし、16歳未満の扶養者がいる場合1人につき38万円、16歳以上19歳未満の扶養者がいる場合1人につき25万円を所得から控除した額で再計算した場合、所得税が非課税になる方も対象になります。 ※求職活動中の方や傷病又は家族の介護のために就労が困難な方も対象になります。
申請時の持ち物	・印鑑 ・保険証 ・対象となることが確認できるもの(身障者手帳・年金証書など)	・印鑑 ・保険証 ・父母が就労していることが確認できるもの(保険証・就労証明書など)

☎税務町民課国保医療係 ☎(62)2291

を習得する研修、国・県・町などが主催する国際交流事業、海外でのボランティア活動

◆補助金額/交通費の2分の1以内(限度額は1人20万円・小学生の場合は1人10万円)
※原則として研修実施の1カ月前までに申請書の提出が必要です。
☎政策推進課政策推進係 ☎(62)2118

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です

キヤッチフレーズは「男で〇、女で〇、共同作業で〇」です。「男女共同参画社会」の実現のため、この期間に男女のパートナーシップについて考えてみましょう。
☎政策推進課政策推進係 ☎(62)2118

中国語講座の受講者募集

寒河江西村山日中友好協会が主催する中国語講座の受講者を募集しています。中国語に関心のある方、一緒に学びませんか。
◆期間/6月30日(金)～12月8日(金)※お盆などを除く毎週金曜日、全20回を予定



編集後記
準備から片付けまで、30分あまり。先生や子どもたちにとっては当たり前ですが、「給食の時間、こんなに短いんですか?」思わずそう聞いてしまいました。自分が小学生の時、何とも思わずに過ごしていた時間の尊さ。「現役」の小学生たちは今、大人よりもずっと濃密な1分1秒の中を生きている、改めてそう実感した取材でした。(伊藤智治)

労働保険料(労災保険と雇用保険)の申告・納付期限は「7月10日(月)」です。忘れずに手続きをおこなってください。
☎山形労働局労働保険徴収室 ☎023(624)8225

事業主の皆さんへ
労働保険料の申告・納付について

◆時間/19時半～21時
◆場所/寒河江市ハートフルセンター
◆内容/初歩クラス(初心者向け)、初級クラス(継続受講者向け)
◆受講料/5千円(テキスト代別途)
☎寒河江西村山日中友好協会(事務局・山形新聞社寒河江支社内) ☎(86)4241

思い出の No.20 まいぞうひん My蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲佐藤さん夫妻が約70年間にわたって収集した、およそ500体のこけしコレクション。中央公民館で展示中です



◀(左)岩手県内で購入したという、表情や模様がまったくないこけし
(右)「温泉地には伝統的なこけしが多いですね」と話す佐藤さん

今から70年ほど前、私が宮城県内の大学病院に勤めていた時に、鳴子のこけしを購入したのが始まりです。妻が昔から愛好していたので、遠方でこけしの展示会などがあると、私が車を運転して妻を連れて行くこともありました。学会で東北各地を訪れた際に購入したり、ゴルフなどの催しの賞品として頂いたりもしました。

こけしは東北地方特有の工芸品で、土地によって異なった特徴があるのが面白いですね。一流の職人が少なくなっ
てしまい、今では手に入りにくいものもあります。

昔は、こけしは子どものおもちゃとしてよく売られており、今も飾っているご家庭も多いと思います。このたびわが家の所蔵品を町に寄贈することになりましたので、ぜひ多くの皆さんにご覧いただきたいです。

(6区 佐藤雄幸)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？
懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。
総務課情報システム係 ☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

4月21日～5月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
美郷	鈴木 桜也 <small>さくや</small>	男	健・彩
9区	菊地 葵 <small>あおい</small>	女	祥太・沙弥香
小見	鈴木 日彩 <small>ひいろ</small>	女	拓也・早姫
藤田	鈴木 健琉 <small>たける</small>	男	孝拓・友香

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
小漆川	鈴木 隆一	(84)
小見	伊藤 勇樹	(20)
5区	須貝 芳男	(96)
荻野	高取 光雄	(89)
富沢	斎藤 麗子	(50)
下北山	菊地 武雄	(88)
小見	伊藤 ひでの	(85)
月布	林 七五郎	(90)
7区	川勝 綾子	(90)
沢口	鈴木 恭	(71)
9区	伊藤 ひろの	(93)
12区	菊地 カツ子	(77)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,499人(-16)
男	4,211人(-9)
女	4,288人(-7)
世帯数	2,942戸(-1)

平成29年6月1日現在

※掲載を希望しない場合は、
届け出の際にお申し出ください。